



POLICE Information

梅雨期における土砂災害対策

災害から「命」を守るために

4月16日に発生した「熊本地震」の影響で、南阿蘇村では国道57号線（阿蘇大橋付近）の土砂崩落をはじめとし、5月初旬現在で、約60カ所の山崩れが把握され、余震、降雨の影響により刻々と状況は悪化しており、土砂災害が懸念される状況となっています。

これから梅雨期に入ることになりますが、この様に土砂災害のおそれ認められる危険箇所では、降雨で水を含むことにより『地すべり、崖崩れ、土石流』といった災害に発展する可能性が高くなります。

梅雨だけでなく、現在も活発に余震活動は続いていますので、災害から「命」を守るためにも、“災害は必ず起きるもの”と現状を受け止め、予防的避難、早期避難など、“命を最優先する行動”をとるようお願いします。

予防的避難の重要性

梅雨期に入り気を付けなければならないのは、やはり土砂災害です。

今回の地震により、これまでの経験則が通用しない事態となっていますので、住民の皆さまにあっては常に防災関連の情報（天気予報・降雨レーダーなど）に関心を払ってもらい、自らの命を守るためにも早期避難・予防的避難に重点を置いた行動をとっていただけるよう、強くお願いします。

防災情報の入手

災害から身を守るためにも、最新かつ正確な防災情報をテレビやラジオ、携帯電話などで入手し、現状把握や危険予知、避難の判断を行いましょ。

災害に対する日頃の備えを

おおむね次のようなものを災害時の必需品として普段から準備しておきましょう。



災害時の必需品

- 貴重品
現金、通帳、印鑑、健康保険証、免許証など
- 非常食等
レトルト食品、缶詰、ミネラルウォーターなど
- 携帯ラジオ、懐中電灯、携帯電話等の充電器材など
- 電池、ライター、固形燃料、ティッシュ、ラップ、ビニール袋など
- その他
ヘルメット、簡易トイレ等防災用品、衣類、タオル、雨具など

※“非常用持ち出し袋”を準備して、目に付きやすいところに置いておきましょう。